

○産業建設常任委員会

1. 委員構成（6名）

委員長 長島幸男 副委員長 長津智之
委員 野村武勝、田村昌男、大槻良明
小川賢治

2. 所 管

【令和4年第1回定例会まで】

都市建設部、産業経済部、水道局、農業委員会

【令和4年第2回定例会から】

都市建設部、産業経済部、水道局、農業委員会、防災管理課、消防本部

【令和5年第2回定例会～】

都市建設部、産業経済部、水道局、農業委員会、消防本部



3. 審議内容（25件）

付託案件	件数	審議結果			
条例案	3件	可決すべきもの	3件	否決すべきもの	0件
補正予算案	16件	可決すべきもの	16件	否決すべきもの	0件
その他議案	2件	可決すべきもの	2件	否決すべきもの	0件
請願・陳情	4件	採択すべきもの	2件	不採択すべきもの	2件

4. 所管部署の主な実施事業

(1) 広域幹線道路整備事業

路線名	事業期間	用地取得率 (R5.5末現在)	事業進捗率 (R5.5末現在)	R4年度事業費 (単位:千円)
栗又四ヶ線 (上馬場～栗又四ヶ)	～R5年度	100%	98.8%	114,200

(2) 玉里地区地籍調査事業

地籍調査(再調査)事業について、全体の事業計画面積が10.67km²であり、その事業期間は、調査開始から認証の終了までの14ヶ年(令和2年度一部計画変更)を予定しています。

また、これまでに川中子地区、下玉里Ⅰ地区、下玉里Ⅱ地区の登記が完了し、現在は、高崎Ⅰ地区(下高崎区・上高崎区の一部)の登記申請中です。

今年度においては、事業費1億1,199万9千円を計上し、高崎Ⅱ地区(上高崎区の一部)の登記に向けた手続き、上玉里Ⅰ地区(松山区・第2東宝区・玉里中台区・大宮区の一部)の閲覧業務及び認証請求に向けた手続き、さらに上玉里Ⅱ地区(大宮区(大宮区・田木谷駅前区の一部)の一筆地調査・境界立会等を予定しています。

玉里地区の地籍調査については、昭和41年頃に事業着手し、一度完了している中、当時はプラスチック杭等の永久標識を設置する義務が無く、さらに高い精度が望めない平板測量という方法で行われました。そのため、現在において分筆などの土地活用を図る際、土地の境界の面で支障を来す可能性が考えられます。

また、小川地区、美野里地区の地籍調査成果と比較しても、その地図の精度区分に差異がある状況です。

このような事から、これらの諸問題の解消に向け、個人の財産である土地の境界や面積等の明確化、さらに小美玉市全体の地図の精度区分の平滑化を図るなどし、市全体としての計画的かつ効率的な土地利用のさらなる推進に向けた整備を実施します。

(3)羽鳥駅周辺整備事業

年月	経過
平成29年4月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路新設工事契約を議決
平成29年4月	議会の議決によりJRと施行協定書を締結
平成29年5月	羽鳥学区区長会への説明, 広報紙等で事業概要の周知
令和元年6月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路 一部供用開始
令和元年6月	既存駅舎・人道橋、ホーム内跨線橋解体工事 西口階段等工事
令和2年2月16日	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路全面供用開始
令和3年4月1日	羽鳥駅東西駅前広場供用開始

羽鳥駅周辺整備事業については、平成20年度に小美玉市総合計画への位置づけがされてから約13年目の令和2年度末、橋上駅舎及び東西自由通路に接続する羽鳥駅東西駅前広場が供用開始されました。

今後は、駅東口市有地について建築物系個別施設計画(案)に対するパブリックコメントでの市民の方からの様々な意見を踏まえて、有効活用できるように検討していくとのことで、当面の間は様々な利活用が図られるよう広場として整備していくとのことです。



5, 視察研修

令和5年1月31日～2月1日で佐賀県佐賀空港及び熊本県熊本市において委員会視察研修を実施した。

佐賀県佐賀空港・・・活性化対策・オスプレイ対策等について
熊本県熊本市・・・熊本地震からの復旧・復興について